『修学旅行』

原案：愛知シュタイナー学園５期生
台本作成：河口琢磨

登場人物
桶野・・・生徒会会長・密かに萌奈に恋している・ストーキング
萌奈・・・アイドル・密かに桶野に恋している
※一条・・・生徒会広報・桶野を憎んでいる（登場しない）
茂田井・・・萌奈に恋する少年
桐生・・・生徒会副会長、萌奈のいとこ

場所
それぞれの部屋と学校から萌奈の家に向かう帰り道

　萌奈の家に向かう帰り道
　萌奈がやってくる。中央まできて立ち止まり、恐る恐る背後を振り返り確認する。

萌奈　・・・。

　萌奈スマホを取り出す。

萌奈　もしもし・・・うん、そう今帰り。・・・うん・・・もうすぐ修学旅行だね・・・

　萌奈誰かと電話をしている風に装い、ぎこちなくスマホに喋り掛けながら足早に去って行く。
　桶野が顔を出す。様子がおかしいぐらい息が荒い。

桶野　はあ、はあ、はあ・・・。（大きく深呼吸）ああ、萌奈の匂いが残ってる。

　桶野来た方へと走り去っていく。

　茂田井の部屋
　茂田井がスマホで一条に電話をかける。

茂田井　　あ、もしもし。この前インスタに上げた写真どうだった？桶野に見せた？・・・あ、上手くいった？良かった。ちょっと萌奈と桐生が遠かったからさ、大丈夫かなって思ってたんだけど・・・あ、やっぱり最初は疑ってたんだ。ちょっと分かりにくかったもんね。・・・桶野焦ってた？・・・かなり焦ってたんだ。よっしゃー。・・・う

ん・・・手震えてたんだ。うん・・・こぼしたの？えーっ、それウケるね、見たかったなぁ。・・・あはははは・・・バカだね・・・

　と話が続いている中、萌奈の部屋に萌奈がやってくる。
　萌奈がスマホで誰かに電話している。

萌奈　もしもし、萌奈です。・・・あ、お疲れ様です・・・あのですね。前にも一度ご相談したんですけど・・・そうです。ストーカーの。・・・居たっていうか、感じた？って感じなんですけど・・・あ、感じたって言っても、今電話なんで「感じた」って言いましたけど、小さく「感じた」じゃなくて、結構大きく「感じた」って感じで。・・・はい。感じましたね。絶対ストーカーですね。・・・家族と住んでます。・・・兄弟はいないです。・・・いえ、親じゃないですね。親って感じじゃなかったです。ストーカーって感じでした。・・・お願いします。・・・・・・そうなんですか。・・・・・・ありがとうございます。じゃあ、お願いします・・・では失礼します・・（電話切る）

　萌奈大きく深く溜息
　茂田井の部屋、電話は続いている。

茂田井　　これで桶野は萌奈のこと諦めるかな？・・・え、そうなの？・・・何をやるの？・・・・・・萌奈がストーカに？・・どうする？・・助ける・・・どうやって？「ストーカー止めて下さい」って言う・・・やめてくれないの？・・・・・・そっか、そうだね。やめて下さいって言って、すぐにやめるストーカーなんて、ストーカーの風下にも置けないよね。・・確かに、誰目線で言ってんだろ、僕・・・・・萌奈がストーカーに遭ってたら、力で止めに行くの？僕が？・・・殴れないよ。・・・蹴れないよ。・・・武器？・・・武器、危なくない？・・・・危ない目に遭ってるのは萌奈・・・・危ない目に合わせてるのはストーカー・・止める・・武器で・・・萌奈のヒーローになれるの？・・分かった。何とかする。ヒーローになる。

　茂田井電話を切る。

茂田井　　ようし。僕が萌奈のヒーローになる。

　茂田井去る。
　萌奈の部屋

萌奈　もしもし、ちょっとヤバいよ、聞いてよ・・・やっぱりストーカーされてるっぽいんだけど・・マジで・・・うん、ありがとう、大丈夫。誰かと電話してる感じで帰ってきた・・・多分なんとかなったのかな？・・一応、歌って踊ってお芝居もできるアイドルだ

から・・・「あはは」じゃないよ。ホントにやってんだから・・・「はいはい」じゃないよ・・・でもちょっとやっぱ、結構、なんていうの？メンタル来てるわ・・もうキモイんだけど・・もう、どうしよう・・一応、事務所から警察に相談はしてくれてるって言ってたけど、やっぱこういうのって難しいかもって・・そう。なんで？って感じでしょ？被害が起こってからじゃ遅んだけど、証拠になるものが何もないからね、犯人も特定出来ないし・・・キツイ。ホントきつい。それでさ、ちょっと相談したいんだけど・・・明日から３日間、一緒に帰ってくれない？・・・・・大丈夫。守ってくれとまでは言わないから。近くにいてくれたらいいから・・・ありがとう。良かった。他の男子には頼めないからさ・・・だって、私アイドルじゃん？熱愛報道とか出たらいやじゃん？・・・売れてないけど、売れた時に使われんのよ。・・でしょ。もしだよ？写真撮られても、私ら何もないし、そもそもいとこじゃん？大丈夫じゃん？・・あ、でも一応念のため、５歩ぐらい後から付いて来てね・・・・・修学旅行？あ、行く行く。オーデション一次で落ちちゃったから・・・うん。落ちた。なんか、もうちょっと生命のみなぎった元気な女の子がいいんだって・・そう、なにそれ？って感じでしょ。私だって生命みなぎっとるわ。思い切り生きとるわ・・・まあ、そういうことで、お願いします・・じゃあね・・（電話切る）

　萌奈少しホッとしたような様子。そして去る。

　桶野の部屋
　桶野電話に出る。

桶野　もしもし。ああ、一条か、どうした？・・・・・え、萌奈と桐生が？付き合ってる？・・・・一緒に帰ってる？・・・修学旅行が近いとなんで？・・・雰囲気で付き合うのか？・・・・しかも、あいつ、生徒会に出ずに、サボって？・・・・・そうか。ありがとう。分かった。

　萌奈の家に向かう帰り道
　桐生がやってくる。帽子を深く被ってグラサンも掛けている。
　桐生ハリウッド映画に出てきそうなＦＢＩやＣＩＡの捜査官のような動きで、違う意味で怪しい。
　桐生安全を確認。

桐生　（手で「こっちへ来い」と合図）

　萌奈がやってくる。

桐生　（「手で行け」という合図）

　萌奈進むと、守るように前進。
　ただし、３～４歩進んだところで

桐生　（「手で待て」という合図）

　桐生安全確認。

萌奈　やる気がみなぎってるね。
桐生　そう？
萌奈　だって、私より前に出ちゃってるし。５歩後から付いてくる感じで良かったんだけど。
桐生　（手で「こっちへ来い」と合図）

　萌奈が近付く

萌奈　その帽子、使ってるんだ。
桐生　（「手で行け」という合図）

　萌奈進むと、守るように前進。
　ただし、３～４歩進む。
　この間に、桶野が半分姿を現す形で二人の様子を窺っている。

桶野　あの帽子は俺がプレセントした帽子。
桐生　（「手で待て」という合図）
萌奈　誰がくれたかも分からない帽子、よく被れるね。
桐生　全然大丈夫。気に入ってる。
桶野　この二人、やはり。

　桐生安全確認。

桐生　下がって。
萌奈　何？

　と緊張が走る二人、ゆっくりと後ずさる。桶野にも緊張が走る。。
　茂田井が帽子を深く被って顔が見えにくい状態で、おもちゃのナイフを持って出てくる。明らかに犯人感のある風貌。萌奈桐生は、おもちゃのナイフとは思ってない。
　桶野が（萌奈桐生側）様子を窺っている。

茂田井　　見付けたぞ。

桐生　お前か。
萌奈　危ないから、やめて。
茂田井　　ありがとう。今行くから！
桐生と萌奈同時に　いや、来るな！
茂田井　　萌奈ちゃんから離れろ！（と桐生に威嚇で近付く）
桐生　お前が離れろ！（茂田井を牽制）
茂田井　　僕がヒーローになる！

　と茂田井が桐生に向かって切りつける。それを桐生がよける。茂田井再び切りつけるが、またよけられる。今度は桐生が殴りかかる。それを茂田井がよけ、たまたまカウンターで、ナイフがお腹に刺さる。
　それを見ていた桶野

桶野　やったか。
桐生　ううっ！
萌奈　いやぁぁぁ！！！
茂田井　　あああ！

　桶野立ち去る。

桐生　うう・・・、おもちゃじゃねえか！この野郎！
茂田井　　よかったぁ。
桐生　よかったじゃねえよ！ビビらせやがって！

　と茂田井を一発殴る。

茂田井　　あ！

　と倒れ込む。
　桐生おもちゃのナイフを指でつまみ。

桐生　これを証拠に警察に突き出そうぜ。

　と萌奈と桐生去って行く。

茂田井　　いたたた・・・。なんで？ストーカーは？あれ？

　茂田井ほほを抑えながら、去って行く。

桶野の部屋

桶野　桐生は生きていた。だけど、二人がそういう関係であるということは間違いないようだ。俺はどうしたのいいんだ。俺の愛した萌奈を自分のモノにする桐生を許してはおけない。それに何より、俺の愛を無かった事にした萌奈も、この手で何とかしなければ駄目だ。明日から、とうとう修学旅行だ。楽しい修学旅行？行かせない。行かせないぞ。行くのは地獄だ。

暗転